

市政に対する要請書

令和 7 年 1 2 月 1 7 日提出

三 豊 市 議 会

市政に対する要請

若者が戻ってくるまちづくりについて

このたび、高校生と意見交換を行ったところ、様々なご意見の中で、「若者が減っていかないようにするためには何が必要か」という意見があった。これは、人口減少・高齢化が進行する本市において、高校生自身が三豊市の将来像をイメージするにあたり、自分達のような若者世代が地元で進学・就職しようと思うため、また、一度都市部で生活した後であっても、将来的にＵターンしようと思うためには、何が必要で、今、何ができるのかと問う、非常に率直な意見であると受け止めている。

若者が「帰りたい」と思える、あるいは「住んでみたい」と感じる三豊市を実現するため、更なる移住・定住対策と若者の視点を取り入れた魅力あるまちづくりへの取り組みを要望する。

災害時に安心できる避難所について

高校生からは、南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備えた防災対策について、災害時には安心できる避難所がほしいとの意見があった。

市民誰もが安心して避難生活を送れる環境を実現するため、若者をはじめとする多様な世代や価値観に基づき、その意見を取り入れながら課題を洗い出し、避難所環境の向上に努めるよう要望する。

高瀬茶をはじめとした特産品のPRについて

市内では高瀬茶にふれる機会があるものの、意見交換会を通して、「市外へのPR不足」が課題として認識された。

高校生からは、自動販売機での販売やお菓子の販路拡大などアイデアが出ており、高瀬茶をはじめとした特産品の販路拡大、商品開発、情報発信等において、若者の意見や柔軟な発想を活かす機会の創出に努めるよう要望する。